

# 日本仏教社会福祉学会第53回学術大会

## 大会プログラム

期 日 2018（平成30）年9月29日（土）～30日（日）  
会 場 身延山大学

### 9月29日（土）

- ★ 理事会受付 9時30分～
- ★ 理事会 10時10分～13時（含む：昼食）
- ★ 一般受付 12時30分～
- ★ 開会奉告法要並びに物故者報恩法要 13時10分～13時25分本館5階講堂
- ★ シンポジウム（13時30分～17時25分） 本館210教室

#### ○テーマ「超高齢社会の今からを考える」

開催校挨拶 浜島典彦 身延山大学長

シンポジウム趣旨説明 池上要靖 身延山大学副学長 大会開催校責任者

趣旨概要 「高齢化率が総人口の1/4を超え超高齢社会に入った現在は、介護難民や孤立（独）死といった高齢者に関する社会問題を抱えている。国は「高齢社会対策大綱」において、今後の社会形成の枠組みの一つに地域社会の活性化と、多様なライフスタイルを実現するための自立支援などの項目をあげている。本シンポジウムでは、上述の視点から、①現状の社会問題にかかわる社会福祉の認識を踏まえること、その上で②新しい地域共同体モデル形成の取り組みを今後のスタディケースとしてとらえ、そして③個人に及ぶ心のケアの面からマインドフルネスを取り上げ、超高齢社会に向けた視点を確認し、本学会にその問題意識を取り込むことを試みたい。」

#### シンポジスト

- ・ 第一生命経済研究所ライフデザイン研究部主席研究員 小谷 みどり氏
  - ・ 那須100年コミュニティー地域プロデューサー 近山 恵子氏
  - ・ 高野山大学仏教学部教授 井上ウィマラ氏
- コーディネーター
- ・ 身延山大学仏教学部福祉学専攻准教授 榎木 博之氏

- ★ 懇親会（18時00分～） 下部ホテル

山梨県南巨摩郡身延町上之平1900 Tel0556-36-0311  
（大学から身延駅・懇親会会場まで送迎バスにてお送りします）

9月30日(日)

★ 研究発表 9:00～12時40分 本館210教室(発表20分 質疑応答10分)

- ① 学生が認知症カフェを主体的に行う教育効果に関する研究  
～学生からのインタビューで見えてきたこと～  
身延山大学 ○榎木博之 池上要靖
- ② 学生の子育て支援活動から考察する「行学二道」の精神  
身延山大学 伊東久実
- ③ 浅草寺福祉会館における「総合相談」の可能性②ー「困りごと相談」「窓口相談」における「主訴内容」の分析からー  
浅草寺社会福祉会館 ○金田寿世・大塚明子・渡邊智明・井手友子・高橋知恵・壬生真康・平田真紹 帝京科学大学 浅沼太郎 大正大学 石川到覚  
～コーヒースタンド(15分)～
- ④ タイにおける仏教の福祉的役割ーチェンマイ県での定量調査に基づく一考察ー アジア国際社会福祉研究所 安藤徳明
- ⑤ アジアにおける仏教の役割についてー仏教ソーシャルワークの探求ー  
淑徳大学アジア国際社会福祉研究所  
○郷堀ヨゼフ 藤森雄介 秋元樹 松尾加奈
- ⑥ 社会福祉協議会と「宗教系ボランティア団体・宗教施設」との連携についてー東日本大震災を契機とした、地域社会・社会福祉協議会と宗教施設(仏教寺院・神社等)との連携に関するアンケート調査からー  
○淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 渡邊義昭  
共同発表者  
淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 藤森雄介 大正大学 鷲見宗信  
浄土宗総合研究所 宮坂直樹 宮城県女川町社会福祉協議会 須田めぐみ  
全日本仏教青年会 中村悟真

★ 昼食 12時15分～13時00分(昼食はお弁当を当日配布いたします)

★ 総会 13時00分～13時45分(総会終了後、バスにてJR身延駅へ)

日本仏教社会福祉学会第53回学術大会事務局(問い合わせ先)

責任者 : 池上要靖(いけがみようせい)

事務担当: 榎木博之(ならきひろゆき)

〒409-2597 山梨県南巨摩郡身延町身延3567 身延山大学内

電話 0556-62-0107(大学代表) ファックス 0556-62-0707(大学事務局総務担当)

問合せメールアドレス: [naraki@min.ac.jp](mailto:naraki@min.ac.jp)(榎木博之研究室)